

Table with 4 main rows: 事務事業名 (図書館総務管理事業), 政策名 (IV ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》), 施策名 (24) 生涯学習の推進, 基本事業名 (072) 学習環境の充実. Includes columns for 所属部 (教育委員会), 所属課 (社会教育課), 所属G (社会教育グループ), 課長名 (小川 浩), 担当者名 (中林真希), 電話番号 (0854-40-1073), 予算科目 (015025502).

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間 (単年度のみ), ②事業の内容 (雲南市図書館協議会(雲南市図書館体制のあり方及び業務内容)について審議を行う、教育委員会の諮問機関)の開催, ③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)

(2) トータルコスト

Table showing cost breakdown: ①事業費の内訳(概要) (市立図書館(3館)業務委託 24,000千円, etc.), ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等) (委託先との協議, etc.). Includes a detailed cost table with columns for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計), and トータルコスト(A)+(B).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table for ③ 手段: ①主な活動 (23年度実績, 24年度計画), ⑤活動指標 (支出件数, 協議会の開催回数).

Table for ③ 目的・上位目的: ②対象(誰、何を対象にしているのか) (市民), ③意図(対象がどのような状態になるのか), ④結果(どんな上位目的に結び付けるのか). Includes ⑥対象指標 (市民(国勢調査推計)), ⑦成果指標 (来館者数, レファレンス件数), ⑧上位成果指標 (日ごろから学習活動を行っている市民の割合).

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか? (地域を支える情報拠点を目指して、地域や住民にとってより役に立つ図書館としての存在意義を確立していくため、また開かれた図書館づくりや柔軟な運営をするために、平成23年度より民間業者に業務委託を開始した。), ②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯 (蔵書のデータベース改善 → 市立図書館3館と学校図書館をネットワーク化し、蔵書情報を共有できるようにした。), ③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? (図書館業務委託に際しては、当初不安視もされたが、滞りなく運営され、サービスの向上にも繋がっている)

事務事業名	図書館総務管理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・生涯学習活動及び環境整備の視点から、図書館の充実は整合性がある。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・生涯学習活動の環境整備から、公的事业として実施するための図書館の設置は整合性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・対象は、市民全員であり、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・学校教育との連携・協力や各種団体や公共施設との連携により相乗効果を発揮することも可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・生涯学習の環境整備の充実が損なわれる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) ・社会教育に関する専門職員の配置又は市職員の配置 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 図書館施設に関しては、他に類似する施設がないため統廃合は難しい。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・図書館施設は、蔵書の整備を充実させることにより、成果も上がるため、事業費を削減することは難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 平成23年度より業務委託をしており、人件費の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 図書館は無料で利用できる施設であるため、公平公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成23年度より業務委託を行った。委託先の努力により、図書館以外の返却場所の設置等サービスの向上、3図書館の一体化、柔軟が運営が行われるようになった																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・図書館は蔵書や施設の充実、職員体制の整備により、サービスの向上及び利用者の利便性が高まるため、限られた予算の中でいかに利用者のニーズに応え、図書館運営をしていくかが今後の課題である。 ・図書館から遠方の地域(図書室設置の地域)への図書サービスをどのように提供していくかが課題。																							